

岐阜県嚥下障害研究会

モグモグ通信

No. 18 (2011. 5 発行)

11月13日の
学術講演会
へ、たくさん
のご参加を
お待ちしております
ま〜す!



発行所: 岐阜県嚥下障害研究会
事務局: 木沢記念病院 ST室

学術講演会の参加をお待ちしています



多治見口腔ケアグループ
はねっと 代表
代表 栗木 みゆき
(岐阜県嚥下障害研究会理事)

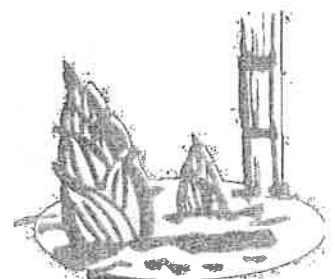
皆さんこんにちは! 「多治見口腔ケアグループはねっと」で代表をしています訪問歯科衛生士の栗木です。私たちは、歯科医師会協力のもと、多治見地区中心に在宅・施設・病院などへ、訪問による口腔ケアのサービスを提供し、「食べることのできる口作り」を目標に活動しています。訪問口腔ケアは地域の各契約歯科医院の歯科衛生士として、そして「はねっと」では同じ目的を持つ歯科衛生士のグループの一員として、ケース検討会や勉強会などを行い、色々な問題に対して互いに協力しあい、知識や技術の向上により、よりよい口腔ケアの提供を目標に頑張っています。また、各種研修会への参加だけでなく、企画開催、地域での健康教室や口腔ケアボランティアや施設などの職員研修の実施など、地域活動も活発に行っています。1人では不安なことも仲間がいることで心強く、色々な活動ができ、地域の住民の方々によりよいサービスを提供できると考えています。

私たち「はねっと」の活動も14年目を迎えた今年、なんと同じ時期に開始された岐阜県嚥下障害研究会の第14回学術講演会の大会長を承りました。今までこの研究会では、色々な研修会に参加させていただいたり、発表をさせていただいたり、会員の皆様には大変お世話になってまいりました。少しでもお役に立てばという思いから、微力ですが引き受けさせていただきました。そこで、今年の学術講演

会では、植田 耕一郎先生(日本大学歯学部摂食機能療法学講座教授)をお招きして、「病態時期別に見た摂食・嚥下リハビリテーションと口腔ケア」～急性期、回復期、維持期、そして看取りを考える～という演題で特別講演をしていただけます。先生のお話から、日々の業務で困っていることや、悩みの解決策が発見出来るのではないのでしょうか。

午後は、研究会では初めての試みとしてテーマ別分科会を企画しました。この目的は、分科会をさらにいくつかの小グループにすることで、参加者全員の方に、何か意見や感想などを言っていただき、皆さんで話し合っていただくことで、受身ではなく、参加型の研修会にしたいと思います。そして、この研究会の特徴でもある、多くの職種の方たちで話し合っていただくことが、他職種への理解や交流に繋がるのではないかと考えます。また、その中で出てきたご意見は、これからの研究会のあり方や、研修会の企画などに参考になると考えています。

現在実行委員は、この新しい企画に向けて準備を開始しています。今までになく大変な作業になると思いますが、理事の協力をいただき、実りのある大会にするべく、成功に向けて頑張っております。また、皆さんのご意見もお聞きし、分科会での話し合いの参考にしたいと思いますので、参加申し込みの際には、是非ご意見をお書きください。できれば早期に申し込みをしていただくとありがたいです。よろしくお願ひします。会場はセラミックパークMINOそして開催日は11月13日と、山が少し色づいてくる頃です。美濃焼・修道院・国宝永保寺など見所も多くあります。多くの皆さんの参加をお待ちしています。



成人勉強会 レポート 1

口腔観察で患者様を知る

山内ホスピタル
看護師 伊藤 春

平成22年度第2回研修会は「口腔ケア」の講義と実技でした。高木先生の講義では、口腔ケアは他職種との連携が必要で、情報を共有し状況をどこまで把握し、状況に合ったケアが行えるかが重要であり、そのためにはアセスメントをしっかりとすることが大切となり、ケアプランを作成していく上で、主たる口腔ケアの目的は何かを考え、決して自己満足の口腔ケアをしてはいけないと学びました。長縄先生の講義では、癌患者様において放射線療法によりさまざまな口腔合併症があり、合併症の原因をアセスメントしながら、一人一人に合った口腔ケア方法を決定していくことが大切であり、乾燥＝保湿剤ではなく、どうしてこの状況になったかを考えることが大切で、保湿剤も患者様の状況によりスプレーかゼリー状かを使い分ける必要を学びました。病棟の中で口腔ケアに時間をかけても乾燥が強く、舌苔・口臭も改善せず、

出血傾向となりやすい患者様のケア方法に悩んでいた私は、今後のケアに生かせる内容で感動しました。最後に栗木先生の講義では、口腔観察で全身状態をみることができ、そのためには10以上に及ぶ観察項目があることを学び、観察の必要を感じました。実技では、意識レベルに関わらず患者様の同意（声掛け）を得た上で、いきなり歯ブラシを入れることのないように関わることで、信頼関係を築け、口腔ケアが不快なものではなくなるようにしていく手技を学び、自己満足でなく、患者様の満足のいく口腔ケアを目指しコミュニケーション及び、手技を実践していこうと思います。

《平成23年1月30日（土）》

1. 講義

「口腔ケアの5W1H～状況に応じた口腔ケアとは～」

岐阜県歯科医師会 理事 高木宣雄氏

2. 講義、演習

①「急性期・回復期における口腔ケアとリスク管理」

愛知県がんセンター中央病院頭頸部外科部（歯科）

歯科衛生士 長縄弥生氏

②「回復期・慢性期における機能を考えた

口腔ケアの実技」

多治見口腔ケアグループ はねっと

訪問歯科衛生士 栗木みゆき氏



咽喉、気管内部を想像

木沢記念病院
総合リハビリテーション部
言語聴覚士 酒井 那実
永瀬 可奈子
嶽 和香奈

今回の勉強会に参加させていただき、自身の普段携わらない分野の症例の発表を聴講させていただき、沢山の新たな知識を得ることができました。特に、先天的な障害を持った方に対する口腔ケアの方法、関わり方などは脳血管障害や廃用といった方に対する方法とは全く異なり、自分の知識不足と経験不足を痛感しました。その後、その分野についての知識を得ようと自ら積極的に動く良いきっかけになりました。カニューレ抜管に至った症例についても、実際にその抜管に携わる立場になった時、自分がどのように動くのか、どのように評価を進めて行き、主治医や病棟スタッフとどう関わっていくのかの手順やその重要性を知ることができました。実際、自分がその立場となった時、今回の発表で得られた知識を生かしていき

いと考えます。また、株式会社高研の岡田さんに「カニューレの種類とその使い分け」について丁寧に説明していただいたことで、カニューレの種類や病態によっていろいろな種類のカニューレを使い分ける必要性についても知ることができました。実際のカニューレを見て触ることで実際の患者さんを目の前にしたとき、聴講前に比べて咽頭や気管内部の様子を想像しやすくなり、口腔ケアや吸引のタイミングなどを計ることができるようになりました。正しい知識を持つことの重要性を知る良いきっかけとなった機会を与えていただきありがとうございました。



朝川氏



上野氏



清水氏



池戸氏



岡田氏

《平成23年3月5日（土）》

1. 症例発表会

- ①「知的障害者が併発した脳梗塞後遺症への
摂食嚥下リハビリテーション」
多治見口腔ケアグループ はねっと
歯科衛生士 朝川世津子氏
- ②「ずっとおいしく食べたい」を支援する
～知的障害と体幹機能障害のある方の事例より～
第二いぶき 生活介護事業所 支援員 上野由恵氏
- ③「高齢者の摂食力を高める食事環境への取り組み」
岐阜県立飛騨寿楽苑 看護師 清水恵子氏
- ④「嚥下障害を呈した頭部外傷患者のカニューレ
抜去に難渋した一例 ～看護部との連携を通して～」
木沢記念病院 言語聴覚士 池戸友梨氏

2. ミニ講演

「気管カニューレの種類と使い分け」

株式会社 高研 名古屋営業所 岡田行弘氏

年会費納入について

納入金額：平成23年度分会費 1,000円

納入期限：8月末日まで（前年未納者は2,000円）

振込先：郵便振替 加入者 岐阜県嚥下障害研究会

口座番号 00890-3-114142

* 同封の郵便振込用紙をご利用ください。

* 通信欄に「23年度分会費」とご記入願います。

* “振替用紙の控え”をもって 会員証とします。

* 2年間会費を滞納すると、自動退会となります。

（注）未入会者は 入会申込み手続きが 別途必要！

問合わせ：木沢記念病院ST室 研究会事務局まで

平成23年度 研修会 年間スケジュール

成人部門

都合により、日時・場所・内容・講師などを変更する場合があります！

●摂食・嚥下リハ 初級課程 講習会

日時：平成23年8月7日（日）10時～15時半
 会場：木沢記念病院 中部療護センター 3階 討議室
 （美濃加茂市古井町）

講師：加藤孝憲氏、川口干治氏、豊島義哉氏
 参加費：会員 1,000円 非会員 3,000円

■第1回勉強会

日時：平成23年9月23日（日）9時半～16時半
 会場：木沢記念病院 中部療護センター 3階 討議室
 内容：「呼吸器の解剖生理、頸部胸部聴診法の演習、
 摂食・嚥下障害への対応」

講師：井上登太氏（NPO グリーンタウン呼吸嚥下研究
 グループ 理事長 医師）

参加費：会員 4,000円 非会員 5,000円

■第2回勉強会

日時：平成24年1月 予定

会場：未定

内容：「おいしく食べる喜びを

～高齢者ソフト食の調理～」第2弾

講師：曳田のぞみ氏 他

（介護老人保健施設サンバレーかかみ野 管理栄養士）

■第3回勉強会

日時：平成24年3月 予定

会場：木沢記念病院 中部療護センター 3階 討議室

内容：「症例検討会」とミニ講演会

参加費：会員 500円 非会員 1,000円

小児部門

■第1回勉強会（通算 第35回）

日時：平成23年6月18日（土）10時～16時

内容：「摂食障害を持つ子どもの医療的ケア」

講師：三浦 清邦氏

（豊田市こども発達センター 小児神経科）

会場：羽島市文化センター内 羽島市立中央公民館

●第7回小児摂食指導講習会（step2 中級編）

日時：平成23年8月20日（土）13時～17時

21日（日）9時～16時

11月20日（日）9時～13時

内容：「食べることへの支援」

—問題点の捉え方と支援の実際—

講師：山川 眞千子氏

（日本ボバース研究会 言語聴覚士）

会場：希望が丘学園

■第2回勉強会（通算 第36回）

日時：平成24年2月頃 2日間

内容：重度の摂食障害児と呼吸援助（仮題）

定員：50名

会場：未定

第14回 学術講演会・総会 第1報

日時：平成23年11月13日（日）9時～16時

会場：セラミックパークMINO（多治見市）

内容：午前 講演「病態時期別に見た摂食・嚥下

リハビリテーションと口腔ケア」

講師：植田 耕一郎氏

（日本大学歯学部摂食機能療法学講座 教授 歯科医師）

昼時 嚥下障害補助食品&口腔ケア用品の展示

嚥下障害関連書籍の販売

午後 テーマ別分科会

①小児部会 食事につながる生活支援

～コミュニケーション・遊び・姿勢～

②地域連携を目指して！ ～摂食・嚥下障害を

持つ方たちの環境を考えよう～

③嚥下機能に合わせた食事形態を考えよう！

④食事現場での悩みを語ろう！

～食事の介助、認知小への対応など・・・～

⑤成人症例から考える摂食・嚥下の評価

⑥口腔ケアと口腔機能向上に関する取り組み

～口腔ケアの悩み・口腔機能向上事業の問題～

参加費：会員 2,000円 非会員 3,000円

学生 1,000円

—編集後記—

モグモグ通信は会員約400名および県内の医療機関、福祉施設、療育施設、特別支援学校など約400ヶ所 合計800部を発送しています。

巻頭言や各研修会の体験レポートなどの執筆を快くお引き受けくださり、感謝申し上げます。

今後共、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。